Saitama Green Tourism

埼玉県グリーン・ツーリズム推進協議会

設立の目的と主な事業

本協議会は、埼玉県におけるグリーン・ツーリズム（農山村における交流活動）を推進するため、会員相互の連携による様々なビジネスを企画・展開し、もって都市と農山村の交流等による地域の活性化に資することを目的とし、平成 19 年４月に設立されました。

協議会では、次の事業を行っています。

（１）グリーン・ツーリズムの啓発・普及に関する事業
（２）地域資源のネットワーク化と情報発信に関する事業
（３）受入態勢整備のための人材育成等に関する事業
（４）ビジネス化の推進に関する事業
（５）その他目的達成のために必要な事業

近年は、里資源に恵まれ、しかも首都圏近郊の埼玉ならでの立地を活かしたグリーン・ツーリズムのコンセプトを**「ちょ田舎・彩の里ツーリズム」**として訴求しています。関連づけて、里の資源を多角的に活かした取り組みを「里業」として、里ならではの環境や景観の魅力を「里並み」としてアピールしています。

※里ツーリズムは、里にある地域資源（ヒト・コト・モノ）を多角的に活用し、地域の活性化をめざしておこす地域主体のツーリズム。その背景には、山林・農地の減少・荒廃、世代を超えて身近な自然や農と食に関心をもつ人達の増加、大都市近郊における里の相対的価値の向上等。

おかげさまで設立 10 周年を迎えました。関係の皆様のご理解とご協力に感謝!!

これまでの取り組み（平成 19～28年度）

＜平成１９年度＞

■設立総会、基調講演（立教大学観光学部教授・村上和夫氏）

＜平成２０年度＞

■フォーラム 2009―埼玉型グリーン・ツーリズムの可能性を考える

第１部：現地見学会（ファームインさぎ山）

第２部：実践事例から学ぶ（かあちゃん塾、新しい村、風と土の館野田）

＜平成２１年度＞

■自主事業：畑で婚カツ事業を試行（宮代町・新しい村）

■フォーラム 2010ー埼玉型グリーン・ツーリズムの新たな可能性を考える

第１部：基調講演「グリーン・ツーリズムのマーケティング戦略」

㈱ツーリズム・マーケティング研究所主任研究員：篠崎宏氏

第２部：パネル・ディスカッションー埼玉型グリーン・ツーリズムの新たな可能性を考える

＜平成２２年度＞

■自主事業：畑で婚カツ事業を展開（５か所、11 回）

■フォーラム 2011ー農と食と都会を結ぶ女性起業家たち

第１部：基調講演「女性の挑戦・食と農で地域いきいき」

農山漁村女性・生活同支援協会専務理事：斎藤京子氏

第２部：事例報告（「べりかふぇつばさ・游」の運営、主婦協同による「愛彩どうふ」づくり）

畑で婚カツ（所沢のトコトコ農園）

＜平成２３年度＞

■さいたま食の文化祭 in 見沼（農山漁村女性ネットワークと共催）

■フォーラム 2012ー埼玉型グリーン・ツーリズムを考え・実践する

第１部：基調講演「食と農から地域ブランドを創る」食環境ジャーナリスト＆食総合プロデューサー：金丸弘美氏

第２部：さいたまの味をおやつに交流会

■埼玉型グリーン・ツーリズム活動事例集（Ⅰ）作成

さいたまの味をおやつに交流

＜平成２４年度＞

■さいたま食の文化祭 in 秩父

第１部：基調講演「食と農で地域いきいき」食環境ジャーナリスト：金丸弘美氏

事例報告「カフェ＆レストラン・まいん及びくぬぎむら体験交流館の運営」

第２部：秩父の味をおやつに交流

■さいたま食の文化祭 in 加須

第１部：基調講演「食からの地域再生」齋藤章一氏：まちむら交流機構専務理事

事例報告「伝統料理・いがまんじゅうが地域の特産になるまで」

第２部：加須地域のふるさと味をおやつに交流会

■フォーラム 2013ー農と食で地域いきいき

第１部：基調講演「農業は未来産業―農業の新しい形を探る」

まちむら交流機構専務理事：齋藤章一氏：

第２部：さいたまのふるさとの味で交流会。

■埼玉型グリーン・ツーリズム活動事例集（Ⅱ）作成

事例集で農家レストラン紹介

＜平成２５年度＞

■彩の国グリーン・ツーリズム推進のつどい 2013

東松山市松山市民活動センターにて、東松山農林振興センターと協働で開催。

第１部：基調講演「農村活性化のモデル発信地―信州せいしゅん村の活動」農業生産法人（株）信州せいしゅん村・代表取締役：小林一郎氏

事例報告「ときがわ山里文化研究所の取り組み」認定NPO法人ときがわ山里研究所・理事長：柴崎光生氏、「耕作放棄地谷津田の再生と柿の商品化」NPO法人比企自然学校・代表理事：千葉茂樹氏

第２部：比企地域の食をテーマに交流会。

■グリーン・ツーリズムの情報発信方策に関する調査

グリーン・ツーリズム実践者支援の観点から、多様化する情報発信ツールを活用した取り組みの有効性について先進事例を通じて分析するとともに、埼玉県における展開方策を検討。

＜平成２６年度＞

■彩の国グリーン・ツーリズム推進のつどい2014

東京オリンピックも視野に“首都圏近郊の埼玉県の立地を活かしたグリーン・ツーリズムによる外国人観光客誘致の可能性と課題”について考える場として企画。ファーム・インさぎ山にて開催。

第１部：里並みウォーキング（外国人モニター対象）、外国人による農業体験とその見学会

第２部：昼食と外国人との意見交換会

外国人による農業体験（里芋ほり）

■第１回実践者セミナー：ＳＮＳを活用した情報発信力強化のノウハウを学ぶ

グリーン・ツーリズム実践者の情報発信力を強化していくため、近年、普及が進むＳＮＳをグリーン・ツーリズムにおいても積極的な活用が図れるように支援するために企画。

第１部：基調講演「ＳＮＳを活用した情報発信力の強化ーグリーン・ツーリズムにおける可能性を考える」公益財団法人日本交通公社・観光文化研究部次長：山田雄一氏

第２部：ＳＮＳの体験＆相談会

■第２回実践者セミナー：古民家・農家等を拠点とした滞在型グリーン・ツーリズムについて

滞在・宿泊型のグリーン・ツーリズムの拠点として、増大しつつある空き民家や農家の活用、さらには遊休農地や林地の活用ついて考えるために企画。

事例報告：「古民家付き農園Ｃｏｒｏｔの現状と課題」コロット代表：峯岸祐高氏、「会員制農家　民宿開業に向けての苦労話」ファーム・インさぎ山代表：萩原さとみ氏、「自然・農業体験」ＮＰＯまちづくり楽会代表：山本正史氏

古民家付農園Ｃｏｒｏｔ（所沢市）

＜平成２７年度＞

■彩の国グリーン・ツーリズム推進のつどい2015

里資源に恵まれ、首都圏近郊の埼玉ならでの立地を活かしたグリーン・ツーリズムのコンセプトを**「ちょ田舎・彩の里ツーリズム」**として訴求していくため、川越農林振興センターとの協働で開催。

第１部：基調講演：「都市近郊における里ツーリズムの意義と可能性」東京農業大学名誉教授・福井県里山里海湖研究所所長：進士五十八氏

事例報告：「山口農園の梅を活かした取り組み」山口由美氏（越生町）

「川越いもを活かした地域活性化の取り組み」三芳町川越いも振興会会長・江戸屋弘東園代表：伊東藏衛氏（三芳町）

第２部：交流会：狭山茶と里の食（おやつ）を味わいながらの交流会を開催。

■第１回実践者セミナー：古民家を再生した体験・交流拠点づくりを考える

さいたま市の郊外に古民家再生による体験・交流施設「久楽里」（ファームイン・さぎ山）が開業したことを機に施設の見学会と意見交換会を開催。

大正時代に建てられた古民家を再生した体験・交流施設「久楽里」。１階は交流スペース、２階はフリースペースとして活用。

■第２回実践者セミナー：里ツーリズムを活かした－古民家＆地区再生へのアプローチを考える

基調講演：「兵庫県篠山市の集落丸山等における古民家&地区再生の取り組み」一般社団法人ノート代表理事：金野幸雄氏

事例報告：「皆野町立沢地区における天空の楽校の運営」嵜本幸男氏、「三芳町における納屋を活かしたユニークなＯＩＭＯｃａｆｅの運営」武田浩太郎氏

兵庫県篠山市の集落丸山における古民家再生による地区再生の取り組み

＜平成２８年度＞

■彩の国グリーン・ツーリズム推進のつどい 2016

昨年度に引き続き、「ちょ田舎さいたま・彩の里ツーリズム」を広げていくために**“地域の農と食で交流を促し地域を元気に”**をテーマに、大里農林振興センターとの協働で開催。

第１部：基調講演：「地域の農と食を活かして新たな農業ビジネスを拓く」農業生産法人（株）hototo 代表取締役：水上篤氏

事例報告：「野菜ソムリエの取り組み」野菜ソムリエ：牧野悦子氏、「農業体験・食と農で地域活性化の取り組み」ＮＰＯ法人地域環境緑創造交流協会副理事長：富田重直氏

hototo が経営する「完熟屋」

第２部：交流会：大里地域の里の食（おやつ）を味わいながらの交流会

■第１回実践者セミナー：古民家や空き家を活かした体験・交流拠点づくり

鴻巣市小谷にある築１５０年の古民家を活かしたカフェ「紫苑（シオン）」で開催

第１部：施設見学会：「紫苑」のオーナー・小林玲子氏による施設案内とカフェ運営に関する説明

第２部：事例報告：古民家や空き家を活かした取組の多様なかたちを知ってもらうために、「きたもとアトリエハウス」、「加須はっこう村」、「ガバレ農場」、「ひきいるハウス」の４事例を報告

築 150 年の古民家を活かしたカフェで実践者セミナーを開催

■第２回実践者セミナー：有機農業を介した都市農村交流による地域活性化の取組に学ぶ

神川町の「神泉の郷有機農業推進協議会」が、有機農業にこだわった都市農村交流を展開し地域を活性化。この取組から有機農業へのこだわりの意味、地元農家や企業との連携による受入体制づくり、都市住民の誘客方策などを学ぶ企画。

第１部：事例報告：神泉の郷における有機農業による都市住民の農業体験の取組（神泉の郷有機農業推進協議会会長：石井清允氏）、ヤマキ醸造の国産有機にこだわった食品提供の取組（ヤマキ醸造・管理部：村山郁恵氏）

ヤマキ醸造の見学・豆腐作り体験

第２部：ヤマキ醸造の見学・体験（豆腐作り体験、昼食、蔵の見学）

埼玉県グリーン・ツーリズム推進協議会

会長：齋藤　章一　理事長：毛塚　宏

事務局　〒355－0017　東松山市松葉町 3－2－5　山本正史あて

Tel：0493－22－4162　FAX：0493－22－4460　E-mail：arakawa@matsuyama-syobou.com

ホームページ：https://saitama-gt.jimdo.com

入会申込書

入会を希望される方は、下記「入会申込書」をコピーし、必要事項をご記入の上、FAX または電子メールにてお申込み下さい。

年会費　個　　人　　3,000 円
　　団　　体　　5,000 円
　　法　　人　　10,000 円
　　賛助会員　一口　10,000 円

申込み先　事務局　〒355－0017　東松山市松葉町 3－2－5　山本あて
　　FAX　　0493－22－4460
　　E-mail　arakawa@matsuyama-syobou.com
お問合せ先　Tel　0493－22－4162（事務局：山本）

ふりがな	
個人名又は組織名	
代表者名 （組織の場合）	
住　所	〒　　－
連絡先	Tel
	E-mail アドレス
現在の活動内容をご記入下さい	

埼玉県グリーン・ツーリズム推進協議会あて

貴協議会の趣旨に賛同し、入会の申し込みをします。

平成　　年　　月　　日

氏名又は組織代表者名